

目 次

第1章 はじめに

1	研究主題	1
2	研究目的	1
3	研究方法	1
4	本書の構成	1

第2章 援助・指導事例

1	尋ねていないことまで一方的に喋るA男(1年生)	4
2	非難・叱責に幼稚な攻撃的反応を示すB男(2年生)	6
3	友達の嫌がることをして気を引くC男(3年生)	8
4	会話や行動が場の雰囲気合わないD男(4年生)	10
5	家庭でしか話さない(場面緘黙)E女(4年生)	12
6	前の時間に習ったことをほとんど忘れるF女(5年生)	14
7	聴覚障害(中等度難聴)があるG男(6年生)	16

第3章 考察

1	何を援助するのか - 児童生徒の課題をとらえる視点 -	18
(1)	「育ち」の弱さ	19
(2)	何を、どんな方法で援助するのか	20
2	援助の内容と留意事項	23
(1)	個別的段階 - 学級担任・教科担任が留意すること -	23
(2)	組織的段階 - 個別指導の場をどのように作り出すか -	28

第4章 研究の成果と課題

1	研究の成果	38
2	今後の課題	39

資料

1	事例に関するその他の資料	40
2	キーワード及び用語の解説	44